

経済倶楽部便り

◆東京◆ 一本足打法ならぬ「二本指打法」に励んでみませんか。足の場合は野球ですが、指はご推察のとおりタッチパネル叩きです。世はスマホ、タブレットがブームです。それも、ソーシャルメディアのツイッターやフェイスブックでのつぶやきはいかがですか（カタカナが多くてすいません）。難しそう？かの聖路加国際病院の日野原重明先生もご愛用で、交信できるかも。機器を購入の際、競争が激しいためか（?）、店員が懇切丁寧にいる教えてくれます。IT選挙解禁を先取りして、時流に乗るのも一興かもしれません。

5月の講演会は前田昌孝氏（日本経済新聞編集委員）、加藤出氏（東短リサーチ社長チーフエコノミスト）、寺島実郎氏（日本総研理事長）、辺真一氏（「コリア・レポート」編集長）をお招きします
（塚田 紀史）

◆中部◆ 大都市の人気のバロメーターとして観光客数があります。年間の延べ人数で見ると、名古屋市は過去最高が愛知万博のあった2005年で5867万人。それ以降は5400万人前後で足踏み状態です。

東京の8億人は別格としても、1億人の大阪の半分程度です。たしかに愛知万博以降は、11年の「リニア・鉄道館」オープンくらいしか注目されるイベントがありません。官民連携で中国、台湾系観光客を呼び込む狙いで、能登から名古屋に至る昇龍道プロジェクトが立ち上がったものの、尖閣問題で冷却。ところが、ここへきて関係者の期待は27年開業のリニア新幹線に向け急速に高まっています。まだ先のことという印象ですが、今年は駅の間所が確定することもあり、名古屋駅前の再開発にも一段と拍車がかかりそうです。

5月の定例講演会は評論家の三橋貴明氏、「週刊東洋経済」の福田恵介記者、政治評論家の田崎史郎氏を予定しています。
（日暮 良一）